

「いくつといくつ」すらすら名人になろう

単 元	いくつといくつ	対象学年	1 年
ね ら い	6・7・8・9・10の合成・分解の音読練習をし、いくつといくつの定着を図ることができる。		

1 準備するもの

教師：拡大した「いくつといくつ音読練習カード」用紙

児童：「いくつといくつ音読練習カード」

(表に答えなし、裏には答え入りの物を画用紙に印刷)

2 学習のしかた

(1) 授業の初めに唱える。

ア 自信がないときは、答えありの裏を見て唱える。

イ 慣れてきたら、答えなしの表を読み、隣の子にあっているかチェックしてもらう。

(2) 家庭学習として、家族の前で唱えて、その答えが合っているかを確認しながら音読カードに記入してもらう。

(3) 教室に入るときに戸に拡大した「いくつといくつ音読練習カード」(答えを紙で隠し、めくることができる)を貼り、答えてから教室に入る。日ごとに、「今日は6はいくつといくつ」をやると決め、学習していく。



〈2人組で音読カードを唱え、確認している様子〉



〈「いくつといくつ」音読カードの掲示物〉

3 学習上の留意点

- ・6～10までの合成・分解を学習した後、授業中と家庭学習で使う。
- ・自分が覚えるだけでなく、友達の音読を聞いて確認することで、より意欲的に取り組むことができる。
- ・教室に入るとき、授業の初め、家庭学習などで、数多く音読する機会を設定することで、「いくつといくつ」の学習の定着が図られる。

4 学習の効果

- ・6～10の数の分解・合成が定着しやすく、すらすら解くことができる児童が増える。

5 参考資料

- ・「いくつといくつ音読練習カード」